

## 宇陀市総合計画審議会会議録

会議名称 宇陀市総合計画審議会第2回会議		
日時	平成24年5月30日(水) 14:00~16:00	
場所	宇陀市役所4階大会議室	
出席者	委員	松塚会長、稗田副会長、小林委員、多田委員、下村委員、油谷委員、片石委員、新委員、三本木委員、森本委員、勝村委員、松平委員、峯山委員、鳴澤委員、裏委員、多山委員、澤岡委員
	事務局	楠田部長、森本課長、中西、勝村
	日都研	2名

### 1. 開会

事務局                   ただいまより第2回宇陀市総合計画審議会を開催させていただきます。本日は委員の皆様には公私ともご多忙の中ご出席いただき誠にありがとうございます。

### 2. 新委員の紹介

事務局                   まず、審議会委員の変更がありましたのでご紹介させていただきます。新たに宇陀市連合自治会会長にご就任いただきました新禎夫様です。議会選出の委員といたしまして宇陀市議会議長の小林一三様です。議会総務文教常任委員会委員長の多田興四朗様です。よろしく願いいたします。

今会議におきましてノーネクタイ、ノー上着で失礼いたします。

4月の人事異動により事務局の変更がありましたので紹介させていただきます。企画財政部長 楠田と企画課長 森本です。引き続き事務局を担当しております、中西と勝村です。

なお本日、西村委員より県の会議と重なっており欠席のご通知をいただいています。

### 3. 会長あいさつ

事務局                   会議に先立ちまして、会長からごあいさつ申し上げます。

会長                   本日は第2回宇陀市審議会にご多用中お集まりいただき、ありがとうございます。この月は総会の時期でもあり皆様お忙しかつたと思います。また、天候も不順で雷が鳴ったりヒョウが降ったりしています。農作物に被害がなければと思います。

第1回目の審議会ではスケジュールをお伝えいたしました。今回はア

ンケート調査結果の資料を配布させていただいています。アンケート調査に基づき前期の検証をしていただきたいと思います。この検証を踏まえ後期計画を決めていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

事務局 松塚会長に議長をお願いいたします。

#### 4. 会議案件

会長 会議の次第に基づき議事を進行していきます。

会議案件①～③について事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、まず配布資料の確認をしていただきます。

(配布資料の確認)

続きまして資料の説明をいたします。

(①市民意識調査について、②前期基本計画の検証について、③後期基本計画の考え方(案)についての資料説明)

「みんなでつくる計画」を策定方針の1つとしております。小学生・中学生を対象に「未来の宇陀市」と題しました絵画の募集を実施し、市民の皆様写真の募集をおこない、それぞれ計画に掲載することを考えています。

#### 5. 質疑応答

会長 まず、①市民意識調査についてと②前期基本計画の検証について検討していただきます。説明よりご質問等ございましたらお願いいたします。

裏委員 市民意識調査からは自由意見が面白いと思いました。

サンプル数が約800は全市民の2%の人達で、その中の半分が60歳以上で榛原地区の方です。

年齢別と地域別の集計だけでは不足と感じました。5%の人が不要と答えた項目、「どちらともいえない」と「無回答」が全体のサンプル数の60%を超える項目、「やや不満」・「不満」・「無回答」の合計と「どちらともいえない」の数字をピックアップすると面白い結果となりました。私自身もアンケートに答えましたが、満足度と重要度は何も知らなければ「どちらともいえない」に回答することが多くなりました。

自由意見の中に「満足」等の項目を「改善の余地なし」「少し改善」「どちらともいえない」「改善」「大いに改善」にしたほうがよいという70歳男性の意見があり、賛同しました。

行政の計画について満足しているのかどうかと問われるといやな気がしました。

「どちらともいえない」と「無回答」が60%以上を超えている項目については、情報発信や啓蒙活動を主に進める必要があると思います。

施策の達成状況について、「十分に達成できた」、「ある程度達成できた」

とは数字的に何%なのか、判断の根拠はどこにあるのか、施策の達成状況で総合評価がコントロールされていると感じました。

総合計画を見直すと課題が多く、課題解決型であると思いました。合併して課題であったところをどうするかという計画であったと思います。今回のアンケートでは、市民の声として観光や歴史の良いところを伸ばすという意見が多かったです。

施策の達成状況の判断根拠は誰がどのように評価したのかをお答えください。

事務局

施策の達成状況は、前期基本計画で掲げた項目についてどのくらい進んでいるかを数字よりも十分達成できた、ある程度達成できた、達成できていない施策の状況を調査しまとめたものです。詳細の分析については整理することを考えています。

アンケートの項目については施策について満足かどうか、重要かどうか、今後の宇陀市のまちづくりについてどれが必要なのかという設問と自由意見で構成しています。

平成 20 年の策定の基本構想の際のアンケートとは違い、今回は見直しの調査として実施しました。

新委員

総合計画が平成 20 年 3 月に策定されています。基本構想、基本計画、実施計画とあります。今回は 24 年度は中間年度の見直しです。平成 20 年から今日までの実施計画がどのように立てられ、その結果どうなったのか、何%できたのかを示すことが先ではないでしょうか。

例えばゾーン別の名阪国道沿いの工場誘致エリアについて、誘致するために上下水道はどうなっていますか。また、目標人口 43,000 人のうち定住人口 33,000 人、交流人口 10,000 人となっていますが、工業誘致はどのように見直されているのですか。平成 24 年に何を見直すのかを示していただきたい。そして、見直したことを資料で提示すべきです。総合計画の指針である柱を、4 年間の基本計画の実施状況がどうなっているのかを公表すべきです。

事務局

基本構想とそれを実現するための基本計画と実施計画は毎年、予算に伴いホームページで達成しているかどうかを示しています。ホームページを見られない方もおられるので、見直しと併せて次回の後期への展開の中で整理し、精査をいたします。今回は市民意識調査をおこないそれを参考に今後、審議会や庁内等で施策の優先度について検討していただく旨を第 1 回目の審議会で申し上げます。

基本構想時に工業誘致については都市計画で準工業地域となっています。室生地域はその縛りがなく、名阪も近いということもありこの場所になっています。それに基づき目標人口を策定しました。基本構想の変更は考えていません。国の調査により平成 27 年には人口が 30,000 人位に落ち込むとなっています。そのために定住促進、U ターン、I ターン

施策を進めています。

- 新委員 具体的なことを示してください。
- 事務局 具体的な事業等は毎年評価しています。市民の方に公表するという  
ことでホームページにも載せています。委員の方に提供する資料について  
は対応いたします。
- 新委員 そこから入っていき、アンケートを受けどう思っているかの方がわか  
りやすいと思います。
- 会長 施策の実施状況の資料について、各委員に配布していただきたいと思  
います。
- 鳴澤委員 個別意見の回答者の半分の方の意見があります。具体的に施策のおか  
しいところや本当はこうではないかということ、また誤解もあります。  
できるところとできないところを理解されていないので不満もでてくる  
と思います。自由意見が一番良い資料だと思います。施策としてそれぞ  
れについて何が問題かを見解として整理をするとよい資料になります。  
今までやってきたことについて、方向転換をすれば傾向がでて理屈付  
けになります。  
計画の施策の項目はよく似た項目があります。回答者はわかっていな  
い人が多く、これが決定的なものにはなりません。グループにまとめれ  
ばいいのではないのでしょうか。市民が納得のいくように整理をしていく  
必要があります。  
施策の中で市民協働や高齢者の就労で「参加します」は押しつけてい  
るようです。「します」ではなく説得できるようにしていかなければなり  
ません。  
施策についてはできたものとできていないものの分析があり、総合評  
価のバックデータとして整理し、施策の中身を明らかにしていくことが  
必要です。
- 事務局 全体と年代別の散布図による分析、自由意見を整理します。施策達成  
状況のバックデータについては整理、精査しています。実施計画の資料  
とともに配布できるように作業を進めます。
- 会長 議員の方が審議会を公聴したいとの申し出があります。よろしいでし  
ょうか。
- 各委員 (賛意を示す)
- 会長 異議がないようですので公聴していただきます。  
審議を続けます。
- 多山委員 アンケートは参考資料にとどめるべきです。  
実施計画の詳細にわたる達成度を見てからでないと言えないとい

う意見がありますが、その通りだと思います。しかし、数回しかない会議の中で全ての項目に対して詳細にわたり決めていくべきかどうかはわかりません。我々がしなければならないことは、限られた市の予算の中で市長がどの項目に予算を付け、どの項目の予算を削るのかということについて、どこまで踏み込み具体的に決めるのですか。大きなことを決めていけばよいと思います。

会長 アンケート調査の結果を見ましても、いろいろな意見がありましたように項目で質問されてもなかなか答えは出ません。今まで4年間の施策の達成状況の数字を表していただき検討していけばよいと思います。

総合計画は合併した当初につくられ、各町村の計画も取り入れてきました。宇陀市になり7年目で、宇陀市全体として考えていかなければなりません。

アンケート調査の自由意見は項目にあてはまらない意見についてどのように組み上げていくかが大切です。

以上のことを含めて検討していただきたいと思います。

新委員 全てを審議会で討議し決定する必要があるとは考えていません。主なハード面とソフト面について、重点項目を絞り検討していくことが必要です。

会長 実施計画の達成状況を作成していただきたいです。いつできますか。

多山委員 達成状況は今どこにも出ていませんね。事務局として、何ができて何ができていないかをA4 1枚程度にまとめてください。

事務局 実施計画はかなりのボリュームがあります。委員の方に見やすいように検討していきます。

市民の考え、施策の展開について整理します。

会長 スケジュールでは7月に後期基本計画の骨子案となっています。その時に一緒に提出していただけますか。

事務局 庁内の施策の方向付けの調査を進めています。それとともに提示できるように準備します。

会長 各委員の方、よろしいでしょうか。

新委員 今回の期間は24年度でまとめるのですね。

会長 策定スケジュールがあります。

三本木委員 一度にできますか。もう一度、審議会を開いてから骨子案を検討したほうがよいと思います。

事務局 今までの検証をまとめつくることと、各課のヒアリングの結果とアンケートの結果を踏まえて、今後5年間でどうしていくのかを決めていき

たいと思います。その結果をもとに骨子案を作成します。前期の達成状況を7月の審議会までに作成できるようにします。

7月に同時に議論を進めたいと思いますが、6月にもう一度必要であれば審議会を開催いたします。

会長 7月の開催でよろしいですか。

各委員 (賛意を示す)

事務局 今回、前期の検証の結果がつかめないという意見をいただきました。それを示せる資料を検討します。

新委員 ヒアリングの時期が遅いのではないですか。

事務局 今後5年をどうしていくのかのヒアリングを行っています。

会長 細かい数字を並べてもわからないという意見もあります。どのような達成状況を示してください。

新委員 自治会を代表して出席しています。自治会では将来どうなるのか関心があります。報告する義務があるのです。

会長 それぞれの立場での意見をお願いいたします。

検証については、第3回審議会で、施策の達成状況も踏まえて骨子案に入ることとなりますが、よろしいでしょうか。

各委員 (賛意を示す)

会長 次に③後期基本計画の考え方(案)についての意見をお願いします。資料3でパターンが3通りあります。基本計画の見本です。どのパターンがよいか決めたいと思います。皆様の意見をお願いいたします。

裏委員 どのパターンも内容は同じです。

内容について市民はわかりません。具体的なイメージがわかりません。この計画は誰のためのものですか。行政のためのものに思えます。平成20年との対比も必要です。現在どうなっているのかを書く必要があります。書く内容等を検証して行くことが必要です。

会長 1つ1つの内容である現状と課題、主要施策、5年後の目標、主な事業、市民協働指針については、改めて検討していただきたいと思います。パターン1から3でどのような表現で市民の皆様に伝えればよいのか検討していただきたいと思います。

鳴澤委員 数字を記載すればいいと思います。そして数字の持つ意味の注釈も記載していけばよいと思います。数字の扱いと意味を表現する必要があります。

事務局 現状と課題や目標値の数字は例として挙げています。パターンを示しています。言葉の表現や数字についてはまた協議していただきたいと思

います。

会長 パターン2と3はよく似ています。どのような形で市民の皆様に表示すればよいのか、また付け加えることがあれば意見ををお願いします。

新委員 まちづくり支援課があり、まちづくり協議会がこれから立ち上がっていきます。まちづくり支援課との関係はどのような形で整合されますか。審議会で福祉の充実や施設の充実についてどのように答えればいいのかわかりません。専門の委員会があるのではないのですか。

会長 いろいろな計画を実行するために総合計画があります。

事務局 基本計画は方向性を示す計画であると考えていただければと思います。実施計画は具体的な事業を取り組んでいく計画です。

新委員 例えば、高齢者が増えています。買い物難民の問題があります。これについて高齢者福祉の充実については大型スーパーを誘致すればいいという提案をすればよいのですか。

事務局 そのような提案もありますが、具体的な事業ではなく、「買い物難民をなくします」という方向性を決めていくこととなります。

新委員 総合計画は将来の宇陀市の指針となるハード面です。ソフト面をどのように位置づけていくのですか。例えばゾーン別に色分けしていくのですか。

事務局 ゾーン別については平成20年に基本構想で承認を得ています。今回は後期基本計画であり、ゾーンを変えることについては考えていません。基本計画内について皆様に議論していただきます。例えば高齢者福祉をどうすべきかということについて現状と課題や主要施策で皆様の意見をいただきたいと思います。

多田委員 宇陀市は市民がいて、市民のための行政です。合併して6年経過いたしました。2,000のサンプルで市民全体の数%ですが市民の考えが得られたと思います。

事務局からの説明にもありましたが、基本構想があり基本計画があります。そして実施計画があります。10年間の計画です。この途中で国も日本を取り巻く世界の情勢も変化しています。県もそれに従い変化していきます。宇陀市の市長も変わりました。竹内市長のマニフェストを基本計画にどのような形で施策の中に加えていくのか、市長の思いをどのように入れていくのかということが大切です。

委員は市民のそれぞれの立場として、代表として審議会の中で意見を申されています。細かい事業についてはわからないと思います。また、受け止め方も様々で、自分の意見が一番正しいと皆が思っていますが、それを言ってしまうと会議はまとまりません。大筋で決められた方向性

や計画を後期では見直すこととなります。総花的になってしまいます。総花的でない事業は前を向いては進みません。2年後には市長も議員も変わります。基本構想と基本計画にのっとり、総花的になりますが、それぞれの立場からの意見を申され、大筋の重点項目でどのように進めていけばよいかということです。国の方向性も見定めてこの議論をしていかなければなりません。数年後には世間は変わります。政権もどの党がとるかにより変わります。間違いのない大きな議論をしていかなければなりません。

副会長 事務局がお聞きになっていることは、総合計画にある現状と課題、施策の方向、主要施策の部分についての表現ですね。内容についてはこれから詰めていく必要があると思いますが、パターン2が市民にとってはわかりやすいと思います。

会長 他にありますか。

裏委員 パターン3がいいと思います。  
わかりやすい目標を先に掲げ、5年間の達成度を示してから施策があるほうが読みやすいと思います。目標を先に掲げるものです。

平成20年度からの評価をどこかに表し、これからの5年間をどうするかということが必要だと思います。

アンケートの調査からも「どちらともいえない」と「無回答」が全体の60%を超える項目が82項目中50項目あり、意味をなしません。文言については、わかりやすい表現や言葉にしていかなければなりません。

主要事業について担当課を記載すればとよいと思います。詳しいことや疑問があれば記載されている担当課に聞きに行くことができます。

会長 事務局の構想としてはコンパクトな基本計画とすると当初申されていましたが、それでいいのですね。広くもとめるのかどうか、主な事業について載せていくのか検討をお願いします。

新委員 後期の見直しについて、重点項目は高齢者福祉の充実だけですか。

事務局 この資料は見本です。文字を入れたほうが見やすいということで、高齢者福祉の項目を挙げています。構成をどうすればよいかということをお聞きしています。文言等の詳細については今後の検討となります。レイアウトを示しています。

鳴澤委員 現状と課題に5年間の評価を簡潔に書いたらよいと思います。社会全体一般的なことが書いてあることになってしまいます。また、ヒアリングの結果を表か簡単なコメントで記載すればいいと思います。

事務局 今までの見直しを踏まえてこういった課題があるかなどを示していきたいと思います。



会長 パターン2か3がという意見があります。

三本木委員 施策の方向がありましたが、なくてもいいのですか。

事務局 施策の方向と主要施策は同じことが記載されています。方向性も踏まえた主要施策で見やすくわかりやすい表現にまとめました。

三本木委員 パターン3がいいと思います。目標が前にあるほうがわかりやすいと思います。

会長 総合計画では施策の方向がありその後に主要施策がありました。5年後の目標はありませんでした。

新委員 事務局の考えはどうか。

事務局 パターン1は抽象的になってしまいます。パターン2か3と考えていました。  
施策をあげてから目標を記載するのも1つの案です。最近は目標の数値をあげてから施策を記載することが多く見られます。パターン3とっていますが、皆様の意見を聞いて決めたいと思っています。

会長 パターン3でよろしいでしょうか。

各委員 (賛意を示す)

事務局 ご意見をいただきました、担当課を記載することと、前期の評価を現状と課題に記載しわかりやすくしていくことを加味させていただきます。よろしいでしょうか。

各委員 (賛意を示す)

会長 パターン3とし、7月の審議会には、現状と課題に前期の評価入れたた骨子案と実施の達成状況についての資料の提出をお願いします。現状の検証をおこない計画の骨子案の検討をしていただきたいと思います。

小林委員 自分たちのまちづくり計画である基本計画は、独自性をもった、優秀な職員の方もおられますので、コンサルに委ねることなく自分たちの手で作ればいいという意見が多くあります。わかりづらい点、実効性を伴った、地域に即した基本計画のいい見直しができることを加味してほしいと思います。財政の問題もあります。自分たちの手作りで今後も考えていただきたいと思います。

新委員 事務局の方で全部できますか。

事務局 職員の中でもまちづくりの検討や総合計画も全庁挙げての計画です。たたき台を審議会や議会にも提出し意見をいただいています。その中で細かいことや表の作成はコンサルの方の知恵をいただき、職員が進めていきます。

三本木委員 5年前も基本となるものはコンサルの方がつくられたと思います。細かいところまで配慮されて計画を作られています。審議会や議会で審議をしっかりとおこない進めていけばいいと思います。

小林委員 自分たちのまちづくりであるということです。できる部分については職員でしていただきたいと思います。

会長 意見を踏まえて骨子案を作成してください。

## 6. その他

会長 事務局からその他についてお願いします。

事務局 本日審議会で実施計画のまとめ、自由意見の整理、計画の中に担当課や今までの評価の記載などいろいろとご意見をいただきました。

次回の審議会を7月で開催を予定しています。日程が決まり次第ご案内いたします。また資料の配布もいたします。

お手元に第2回宇陀市総合審議会ご意見シートを、置かせていただいています。本日の会議に関する意見をいただきたいと思います。ご記入をいただき、そのまま机の上に置いておいてください。後で事務局の方で回収させていただきます。

差し替えをいたしましたアンケート報告書は机の上に置いておいてください。事務局で処分いたします。

新委員 議事録の作成をお願いします。

事務局 議事録もまとまり次第お送りいたします。

会長 前回の議事録で違う点がありましたら事務局まで連絡をください。

本日の議案につきましてはすべて終了いたしました。皆様のいろいろな意見をいただき感謝いたします。次の会議は長引くかもしれません。時間に余裕を持って集まっていただければありがたいと思います。本日はありがとうございました。

**[閉会]**